

比較家族史学会 報 比較家族史 29

事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付
郵便振替 [会費] 00130 - 4 - 5222, [雑誌・その他] 00180 - 3 - 604964

比較家族史学会 第三二回研究大会

日時 一九九七年十一月五日(土)・六日(日)
場所 名城大学・天白二一号館特別教室

住所 名古屋市天白区塩釜口二丁目五〇一番地
(地図参照)

テーマ 父親論——父権・父性を問う

■一日目(二五日) 午前十時半から(十時受付開始)

◆会長挨拶 井ヶ田良治

◆報告

・テーマ趣旨説明

本城武雄(名城大) 10:40~11:00

・家族の自然誌——父親の起源——

山極寿一(京大) 11:00~11:45

・現代社会の父性問題

——心理学の立場から——

神谷育司(名城大) 11:45~12:30

(昼食)

〈時間軸の視点からみた父親・歴史社会比較〉

・平安朝の父子対面と子どもの認知権

服藤早苗(亜細亜大) 1:30~2:15

・近世武家社会における父親像

皆川美恵子(十文字学園女子大)

2:15~3:00

(休憩)

・十八、九世紀イギリスの父親像

——その強迫性と不安——

寺崎昭弘(東京大)

3:15~4:00

・父親役割の三類型

——北歐・フランス・日本の父親論から

ジェンダーの比較社会学へ——

舟橋恵子(桜美林大)

4:00~4:45

(休憩)

□総会(5:00~5:30)

□懇親会(5:40~)

■二日目(二六日) (九時受付開始)

〈空間軸の視点からみた父親・異文化比較〉

・台湾漢族の父親像

——その伝統と変容——

堀江俊一(中京女子大)

9:30~10:15

・韓国の社会変動と家族

本田洋(東京外語大)

10:15~11:00

(休憩)

・母系社会における男性と父親の役割

——西スマトラにおける一事例——

前田俊子(名古屋明德短大)

11:15~12:00

・双系社会における父親

坪内良博(京大) 12:00~12:45

(昼食)

□シンポジウム(2:00~5:00)

運営委員 本城武雄(委員長)・黒柳晴夫
山本正和・若尾祐司

研究大会のテーマについて

これまで母性、母子関係、あるいは母親にかんする研究は数多く積み重ねられてきた。これと比べ、父性、父子関係、父親にかんする研究は非常に乏しい。この父親への無関心と母親への魅了は、現実の家族生活における役割や評価によるのか、それとも家族の属性として継承されてきた伝統の表現なのだろうか。

今大会のテーマとして、「父親論」を取り上げることになった。そこで、父性の一般論を前提としつつ、「時間軸の視点」から時代をさかのぼって父親の具体的な史的位相の解明に向かう研究と、「空間軸の視点」から多様な文化社会における父親の役割を比較検討する研究とで構成した。

大会第一日目には、まず人類学・霊長類学の立場から、父性・母性行動は類人猿の種類や生息環境などによってどのように異なっているのか。そこから、さらに人間社会における父役割と家族の登場をどのように見通すことができるのか、「家族の自然誌・父親の起源」と題して山極報告を得ることができた。また、人が生まれて一人歩きして喋り始め、やがて成人して老いるまでの父性の役割を中心に、心理学の立場からの神谷報告を、お願いした。この二報告によって、人類の誕生と人間の誕生のヒストリーが大きく対比されることになるだろう。また、つぎに、歴史比較の視点で父親像に迫る。ま

ず前近代社会について、日本の古代と近世における父親像の一端が示される。服藤報告では、平安朝期に子を認知する父親の権利がどのように変化していくのか、天皇による子の認知儀礼に焦点があてられる。皆川報告では、近世の儒教武士集団について、日記史料によりながら上級と下級における父親像の違いが明らかにされる。庶民レベルを含め、父親像の変遷を各時代を通じて系統的に把握することは、今後に残される課題となる。

近現代については、西欧を対象に二つの報告が準備されている。ユダヤ・キリスト教世界の父親像は、日本のような性別の諸神に彩られる多神教の世界像とは異なり、世界を統合する創造主としての唯一神と結びついている。そうした宗教的基盤の上に愛情家族のイデーが浸透するなかで、西欧近代の父親像はいかなる特徴をもち、どのような矛盾を抱えこんでいたのか。この問題に、寺崎報告が迫る。そして一九七〇年代から、この西欧近代の父親像は、解体・再編過程に入っている。その先端にある北欧・フランス社会で、父親像の現状はどうなっているのか。現代日本の父親の実態とも比較しつつ、現代社会における父親役割の内容と意味が、船橋報告によって問い直されることになる。

第二日目には文化人類学の立場から、四つの報告が準備されている。まず台湾漢民族の父親像の伝統と変容にかんする堀江報告。そして韓国社会の変動と家族、とくに父の地位や父系血

縁制度の問題にかんする本田報告。これら父系社会にたいし、異文化比較の視点から、母系社会にかんする前田報告、および双系社会にかんする坪内報告をお願いすることができた。

文化人類学の研究関心は主に、それぞれの社会における父親像の固有の特徴にある。すでにマーガレット・ミードにより、母親役割の通文化的な共通性にたいし、父親役割は社会によって大きく異なることが指摘されてきた。したがって、心理的に育成される父性の一般的な側面よりも、それぞれの社会のなかで形成される文化としての父親像、とりわけ外からの強制と社会化によって獲得される父親役割が問題となる。

この社会化プロセスでは、父親や父性よりも、まず「男性」や「男らしさ」の獲得を重視するケースの多いことが注目される。そうした男性イメージと結びついて、父系制・母系制・双系制といったそれぞれの社会で、父親像や父親役割はどのように表象され、どのような違いが見られるのか。また、それぞれに異なる父親像は、何に由来するのか。単なる表面的な現われ方の違いにすぎないのか。これらの諸問題が検討されることになる。

(運営委員会 代表・本城武雄)

運営委員会からのお知らせ

- 1 研究大会・懇親会への出欠については、同封の葉書にて一〇月三十一日までにお知らせ下さいませようお願いいたします。なお、大会参加費は一五〇〇円、懇親会費は三〇〇〇円です。参加費等は、当日受付にてお支払い下さい。会員以外の方の参加も歓迎いたします。
- 2 研究大会の会場は、一一号館(理工学部)五階特別教室、懇親会の会場は学内第二食堂(大会会場より徒歩数分、当日大会終了後案内いたします)で行います。地図をご参照下さい。
- 3 両日とも昼食の弁当を用意いたします。なお、日曜日には周辺のレストラン等は開いていませんので、できるだけ弁当をご注文下さい。弁当は一〇〇〇円前後になるかと思いません。弁当を御希望の方は、同封の葉書でその旨お知らせ下さい。
- 4 宿泊につきましては、名城大学より幹旋しませんが、代表的な宿泊施設を一覧表として掲げましたので、各自でお申し込み下さい。
- 5 大会に関するお問い合わせは、左記にお願いたします。

名城大学法学部

辻 博明研究室

電話(代表) 〇五二一八三二一―一五二

交通 名城大学天白キャンパス(会場)

地下鉄鶴舞線「赤池」「豊田市」行きに乗り、「塩釜口駅」名城大学前」下車、①番出口徒歩約八分。

(地下鉄鶴舞線には、地下鉄東山線「伏見」、地下鉄名城線「上前津」、地下鉄桜通線「丸の内」・「御器所」、JR中央線「鶴舞」の各駅が接続しています。)

事務局からの連絡

- 1 会費納入のお願い
一九九七年度会費の納入をお願いいたします。年会費は三〇〇〇円です。会費未納入の方には振込用紙を同封しましたので、振込みをお願いいたします。封筒の住所ラベル右下の数字が納入済み年度を示しています。なお、ラベルに記載された数字は、九月一五日現在のものです。
- 2 『シリーズ比較家族』の購入について
本学会では、研究大会の成果を『シリーズ比較家族』として早稲田大学出版部より刊行しております。本年三月の『ジェンダーと女性』(定価三四〇〇円)に引き続き、八月に『家族と死者祭祀』(定価三四〇〇円)が新たに刊行されました。比較家族史学会の会員は二割引きで購入できますので、購入希望者は本学会の会員であることを明記して、直接早稲田大学出版部へ申し込んでください。
早稲田大学出版部
〒169 東京都新宿区戸塚町一―一〇三
☎〇三―三二―〇三―一五五二

会員である旨を伝えて、直接弘文堂の担当者(浦辻雄次郎氏)まで申し込んでください。

申込先

〒101 東京都千代田区神田駿河台一―七

弘文堂編集部

電話 〇三―三三―三九四―七〇〇三

FAX 〇三―三三―三九四―七〇三三

なお同社刊の『地方史事典』(二六、〇〇〇円)、『事典東南アジア』(二〇、〇〇〇円)、『歴史学事典』IⅢ(各一五、五三四円)、同IV(一六、〇〇〇円)も同様に購入できます。

4 住所・所属等の変更について
住所・所属等の変更がございましたら、左記宛ご連絡ください。また入会希望等の書類につきましても、同様左記にご送付をお願いいたします。

牧田 勲

理事会議事録

日時 一九九七年六月六日
場所 帝京大学蔦友会館二階パーティー・ルーム

1 新入会員の承認(別項参照)

2 前年度会計報告

一般会計は承認、特別会計は一部未計上金

3 『事典家族』の購入について
本学会が弘文堂より刊行しました『事典家族』は、定価(二五、〇〇〇円)の二割引きで購入可能となりました。購入希望者は、本学会の

があり、次回理事会で再報告・承認を求めることとする。

3 研究大会の準備状況

帝京大学の準備状況・参加予定人数などについて報告あり。秋の研究大会は、名城大学で開催する。テーマについては、「父親のイメージ」ないし「父性―過去・現在・未来」という試案を考えている旨、企画委員会より報告があった。(その後、テーマは「父親論―父権・父性を問う」に決まりました。詳細は、本会報を参照)

4 『比較家族史研究』の編集・刊行について

次号については、六月末に掲載希望者を募る。原稿の締切は八月末とし、一二月刊行を目標とする。

『比較家族史研究』の年二回刊行案は、現在の編集体制では、専従の編集担当者おけないことや予算上からも無理であり、従来どおり年一回の刊行を続ける。枚数制限をして、頁数をふやすことも考える。

5 『シリーズ比較家族』の刊行について

「死者祭祀」は、七月刊行予定(別項参照)。「家族のオートノミー」は、原稿もそろい、編集もほぼ完了。

『シリーズ比較家族』は第二期シリーズを終え、「名前」「女性祭祀」より引き続き第三期シリーズとして刊行されることになりました。

6 学術会議関連報告

学術会議第二部基礎法學研究連絡委員会が生じている「異常な事態」の経過報告と説明。この件については、会員にも広く情報を公開し、異常事態の内容を伝える。(その後七月に、「日本学術会議会員選出問題について」という井ヶ田会長の説明と経過報告、同事態に関する法社会学会の『学会報』を送付しました)

7 会費未納者の再加入について

本学会では三年間会費を継続して滞納した場合には、退会したものとみなすという規定を設けています。今回長期滞納による「みなし退会者」より再入会希望があり、その取り扱いについて審議が行われました。その結果、以後次のような対応をすることになりました。

- ① 会費滞納分全額を納めた場合には、会員資格は継続扱いとする。
- ② 滞納会費三年分を支払い、再加入を認める。この場合、新規加入手続きを行う。

(なお、学会事務局では三年以上滞納があっても、機械的に退会扱いとはせず、柔軟に運用しております。しかし、重ねて会費請求するもお支払いのない会員もままあり、このため三、四年に一回の会員名簿作成時に、五、六年以上の長期滞納者につきましては名簿から除き、退会扱いとしてきました)

8 その他

・『事典家族』の販売促進への協力について

・日本性教育協会の学術研究補助金について

総会議事録

- 1 新入会員の紹介
- 2 会計報告の承認
一般会計のみ承認
- 3 秋の研究大会について
本会報掲載
- 4 『比較家族史研究』の編集と刊行
七月に次号原稿を募集、執筆要綱も送る。
八月末日原稿締切。
- 5 『シリーズ比較家族』刊行進捗状況報告
- 6 学術会議関連
七月に会員に経過報告・説明を記した資料を送付する。
- 7 その他

新入会員

村崎真知子
鎮西高校 民俗学
平井 晶子

総合研究大学院大学 家族社会学

網野 房子

都立大学 社会人類学

坪内 玲子

大学家族社会学

板垣 文

城西国際大学大学院 法女性学

劉 夏如

東京大学大学院 台湾・日本近代史

嶋 陸奥彦

東北大学 社会人類学

住所・所属等変更

(住所変更・一部所属変更等を含む)

宮原 暁

大阪外国語大学

佐島 隆

大阪国際女子大学

太田 素子

大学

政岡 伸洋

龍谷

中野 英子

聖泉短期大学

蕭 紅燕

高知大学

山内 健治

有地 亨

飯村富美子

立柳 聡

小池 誠

洪 賢秀

中込 睦子

森田 悦史

浜 久年

共栄学園短期

高松 靖

対馬 秀子

仏教大学(非常勤)

中生 勝美

児玉 亮子

平田 陽一

広嶋 清志

高志書院

高橋由紀子

須長 史生

小澤 直子

劉 夏如

高倉 良一

久留島 浩

香川大学

(所属変更)

西岡 八郎

小島 宏

中川 高男

高橋 裕子

白石 玲子

許 末恵

上野 雅和

寛 久美子

植木とみ子

国立社会保障・人口問題研究所
国立社会保障・人口問題研究所

平成国際大学

津田塾大学

神戸看護大学

青山学院大学

岡山商科大学

奈良大学

福岡市教育委員会

中村 彰 メンズセンター

杉原たまえ 東京農業大学

佐々木美智子 東海大学福岡短大(非常勤)

渡辺 洋三 帝京大学退職

(電話番号等変更)

南方 暁

森 謙二

高橋 基泰

松本 克美

(郵便番号変更)

岡部 千鶴

会員通信

・芝 修身・芝 絃子訳『イスラーム治下のヨーロッパの衝突と共存の歴史』(E・デュフルク) 藤原書店 三三〇〇円

・沢山美果子・上野輝将・倉地克直・田中貴子・西山良平・妻鹿淳子『性を考える』わたし沈ちの講義』世界思想社 二四〇〇円 一九九七年五月刊

・若尾典子『闇の中の女性の身体』学陽書房 一八〇〇円+税 一九九七年四月刊

・アジア女性史国際シンポジウム実行委員会編(林玲子・柳田節子監修)『アジア女性史』明石書店 九五〇〇円+税 一九九七年六月刊

◇この欄では会員の著作(単行本)を紹介しています。『比較家族史研究』の書評、文献紹介の資料にもなりますので、事務局までお知らせねがえればと存じます。

学会の周辺

○学術研究補助金について

前号会報の印刷中に、財団法人日本性教育協会より「学術研究補助金授与者募集」の知らせが学会事務局に届きました。同協会では、設立二十年記念事業として性教育や性科学の研究に補助金の交付を行っているとのこと。本年の応募締切は既に過ぎておりますが、来年度以降応募を希望される方は、日本性教育協会に直接お問合わせください。

1 学術補助対象課題

人間の性、性教育に関わる、自然、人文、社会科学および学際的諸領域の研究。

2 補助対象者

前掲の研究課題に意欲的に取り組む研究者または研究グループ。

3 研究補助金

一件六〇万円 四件

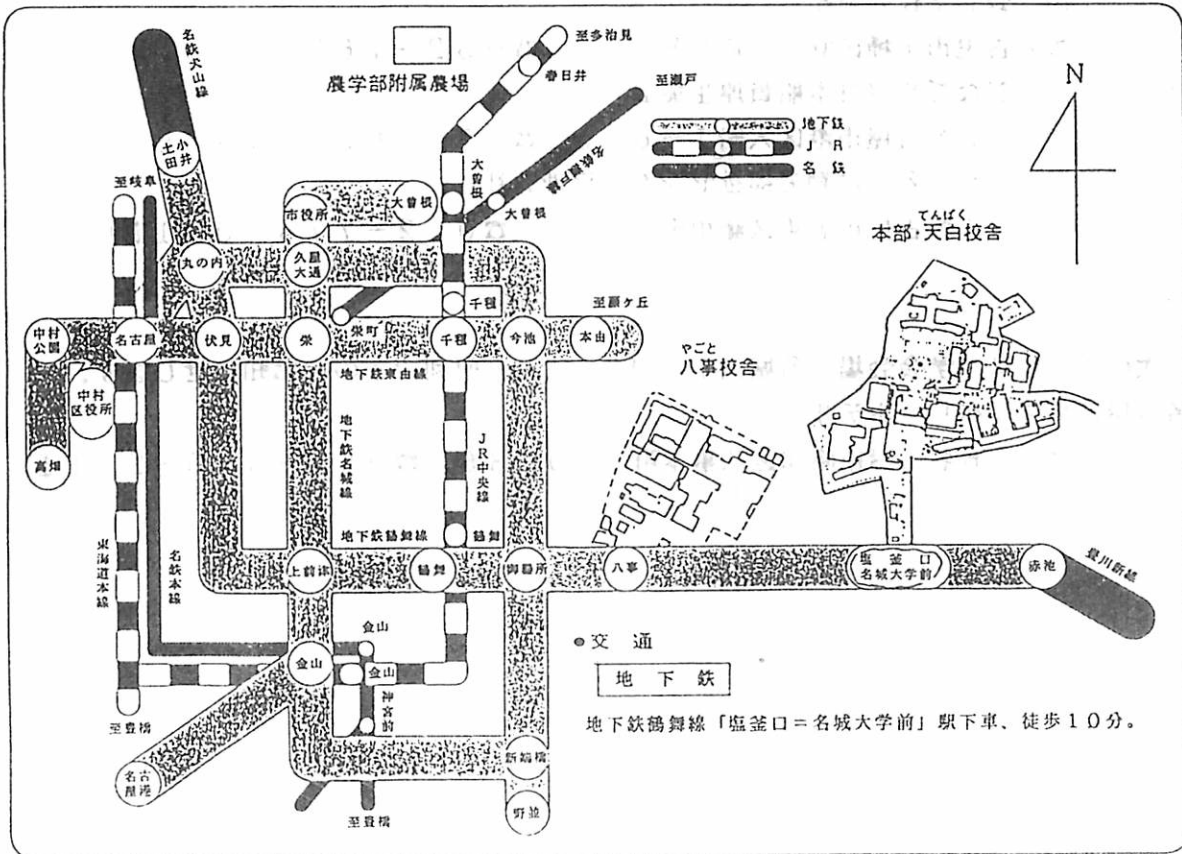
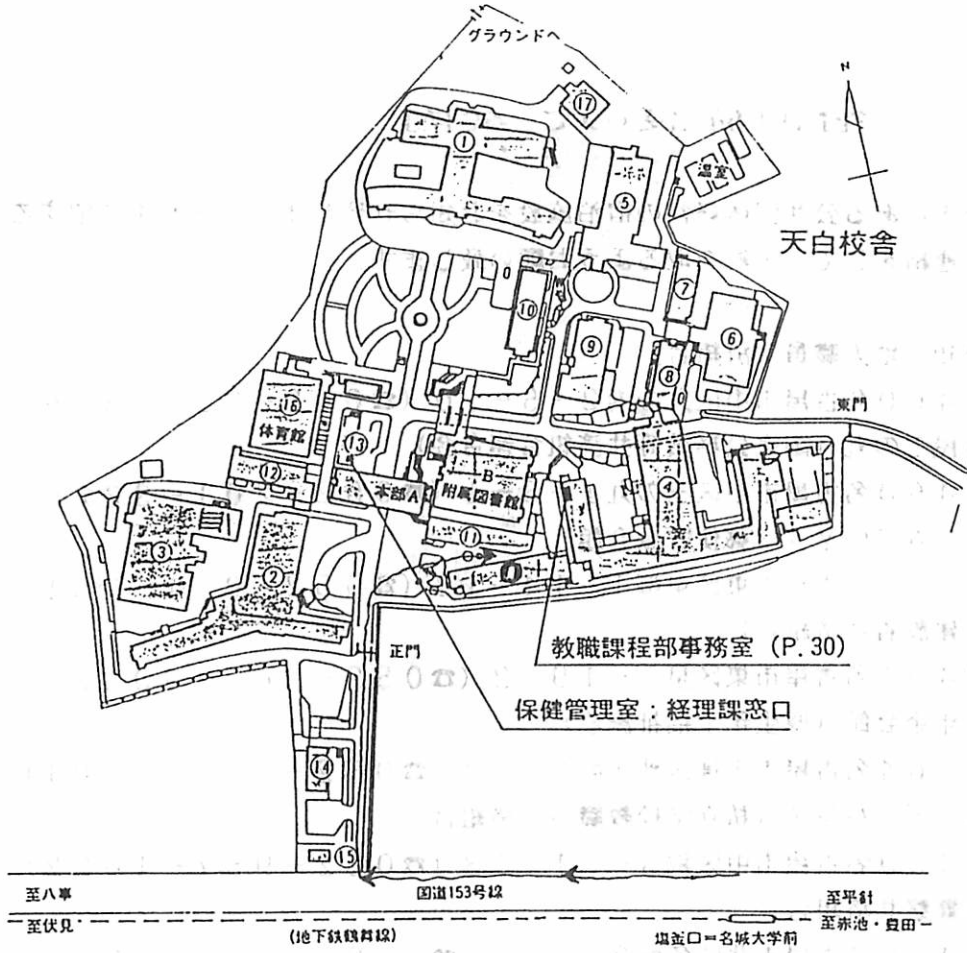
4 提出書類

財団所定の申請書

5 申請書の請求先

〒一〇一 東京都千代田区神田神保町一三三
ミヤタビル2F 財団法人日本性教育協会補助金係

☎ 〇三三三二九一一五一六一
FAX 〇三三三二九一一六二三八



宿泊施設のご案内

名古屋市内にある公共団体経営の宿泊施設をお知らせ致します。宿泊を希望する方は各自で直接に連絡をして、予約を取るようお願い致します。

アイリス愛知（地方職員共済組合）

☎460名古屋市中区丸の内2-5-10（☎052-223-3751）

KKR名古屋三の丸（国家公務員等共済組合連合会）

☎460名古屋市中区三の丸1-5-1（☎052-201-3326）

メルバルクNAGOYA（郵便貯金会館）

☎461名古屋市東区東桜1-14-13（☎052-951-7611）

富士塚荘（建設省共済組合）

☎461名古屋市東区泉1-19-2（☎052-962-9052）

愛知県厚生年金会館（厚生年金福祉施設）

☎464名古屋市千種区池下町2-63（☎052-761-4181）

愛知会館ガーデンパレス（私立学校教職員共済組合）

☎460名古屋市中区錦3-11-13（☎052-957-1022）

名城会館（警察共済組合）

☎462名古屋市北区名城3-2-7（☎052-981-5521）

ルブラ王山（公立学校共済組合）

☎名古屋市千種区覚王山通り8-18（☎052-762-3151）

ハーバーロッジなごや（日本船員厚生協会）

☎455名古屋市港区入船1-6-3（☎052-652-1426）

名古屋サンプラザ（名古屋勤労福祉センター管理公社）

☎461名古屋市名東区藤里町1601（☎052-774-0211）

次のホテルは、学会会場（名城大学）の近くにあり便利ですのでお知らせします。

名古屋八事マルベリーホテル

☎466名古屋市昭和区八事本町100-36（☎052-836-2211）